



桜前線2020

令和2年度 第7号
角田市立桜小学校
校長 馬場 純子
電話 0224 (63) 1150

小さな積み上げを大切に

先週の事です。「校長先生、暗唱を聞いてほしいんですけど・・・。」と6年生の男の子に声を掛けられました。「2学期が始まって早々に暗唱をしたんだ。」とうれしくなり、「いつでも来てね。」と伝えました。しばらくすると、3名の男子が校長室を訪れました。「校長先生、暗唱いいですか。めっちゃ校長室、緊張するー。」と言いながら、毎日練習したであろう長い詩の暗唱を始めました。

私は校長室で、子供たちが一生懸命練習をして暗記した、物語文や説明文、詩などの暗唱を聞かせてもらうのがとても好きです。見事な暗唱はもちろんですが、緊張やドキドキしている心に負けないよう精一杯頑張る子供たちの表情を見ることが本当にうれしいのです。そして、最後まで暗唱できた時の、ホッとしたなんとも言えない安堵感に満ちた至福の表情、達成感にあふれた美しい表情です。感染症予防対策等で、まだまだ学校生活に制限はありますが、日々の小さなことをこつこつと積み上げていくなかで子供たちは大きく成長していることを実感しています。今日も、校長室を6年生が訪ねてくれました。暗唱してくれるのは、国語の教科書に載っている、詩「いま始まる新しいいま」（川崎 洋・作）です。

心に響く素敵な詩なので紹介いたします。



いま始まる新しいいま 川崎 洋

心臓から送り出された新鮮な血液は
十数秒で全身をめぐる
わたしはさっきのわたしではない
そしてあなたも
わたしたちはいつも新しい

さなぎからかえったばかりの蝶が
生まれたばかりの陽炎のなかで揺れる
あの花は
きのうはまだ蕾だった
海を渡ってきた新しい風がほら
踊りながら走ってくる
自然はいつも新しい

きのう知らなかったことを
きょう知る喜び
きのうは気がつかなかったけど
きょう見えてくるものがある
日々新しくなる世界
古代史の一部がまた塗り替えられる
過去でさえ新しくなる

きょうも新しいめぐり合いがあり
まっさらの愛が
次々に生まれ
今初めて歌われる歌がある
いつも いつも
新しい命を生きよう
いま始まる新しいいま